

「日本労働科学学会」第3回年次大会

第3回年次大会準備委員長
山口有次（桜美林大学）

日頃から、日本労働科学学会の活動に貢献いただき、深く感謝申し上げます。

さて、次の第3回年次大会は、桜美林大学の新宿キャンパスにて、コロナ対策を徹底しながら対面形式で開催いたします。このキャンパスにあるビジネスマネジメント学群では、コロナ禍においても、学生の学修とキャンパスライフを最大限に支援するため、オンラインを有効活用しながら、対面を重視して授業運営してきました。今回の年次大会についても、ここ数年、研究者どうしのコミュニケーションが取りづらくなか、対面で交流を図れたらと考えております。

もちろん、事前申込により参加者を特定した上で、入口での検温と手指消毒、館内でのマスク着用の徹底など、コロナ対策を怠ることはありません。会場は、意図的に、換気量の最も大きいホールを使用いたします。参加人数に対する換気量は十二分ですが、講演者の感染対策としてパーティションを設置します。休日は、キャンパスのカフェテリアが運営しておらず、また、周辺にコンビニはありますが飲食施設が少ないため、希望によりお弁当を用意いたします。マスクを取る必要がある飲食時は、黙食をお願いします。また、ペットボトルのドリンクのみの懇親会も準備しております。この時も、マスクを外した時は会話を控えながらも、積極的に交流していただきたく考えております。

全体テーマは「新たな労働科学的課題へのいざない」と設定しました。既にみられる労働科学の取り組みのほかに、国際的な視野、観光・ホスピタリティ・エンターテインメントビジネスの視点から、新たな労働科学的課題を洗い出していければと考えております。

ちなみに、新宿キャンパスは2019年度にオープンしたばかりです。数々の工夫にあふれた館内をぜひ見学してください。

多くの方々の参加をお待ちしております。

【開催概要】

日時：2022年6月25日（土）9:00～18:10

場所：桜美林大学 新宿キャンパス 創新館本館3階 センテナリオホール、J301 教室
〒169-0073 東京都新宿区百人町3丁目23-1

参加費：無料

運営：日本労働科学学会 第3回年次大会準備委員会（桜美林大学ビジネスマネジメント学群）

午前のプログラム

開始	終了	内容	
09:00	09:10	開会あいさつ 酒井一博学会長（大原記念労働科学研究所） 開催校あいさつ	
09:10	10:40	自由論題報告（報告 30 分、質疑応答 15 分）	
		会場 1	会場 2
		センテナリオホール	J 3 0 1
		司会進行①兼田麗子氏（桜美林大学）	司会進行②山口有次氏（桜美林大学）
		発表者 1-1 坂本雅明氏・川崎昌氏（桜美林大学）多様な働き方に関する意識調査	発表者 2-1 中村宙正（博士（経済学）北海道大学）人間の尊厳と労働科学
発表者 1-2 椎名和仁（住友電設）労働科学関連の文献を概観して－災害防止の科学的研究について－	発表者 2-2 佐野友美（大原記念労働科学研究所）障がいを持つ従業員と共に働く職場づくりプログラムの開発		
10:40	10:50	休憩	
10:50	11:05	会員総会	
11:05	11:37	プロジェクト報告（8分） 司会進行：坂本恒夫事務局長 1）プロジェクト「過労死等を防ぐための事業場並びに国家の取組」高橋正也氏（労働安全衛生総合研究所） 2）プロジェクト「在宅勤務」平澤貞三氏（社会保険労務士法人HRビジネスマネジメント）、榎原毅氏（名古屋市立大学） 3）プロジェクト「多様な労働・生活様式」山口有次氏（桜美林大学）、綱島康高氏（倉敷紡績株式会社（クラボウ）） 4）プロジェクト「DX と働き方」境睦氏（桜美林大学）	

11:37～12:40 昼食休憩（事前申込制でお弁当販売）

* 創新館 1 階カフェテリア

午後のプログラム 全体テーマ：新たな労働科学へのいざない

開始	終了	内容
12:40	14:10	統一論題①「アジア各国における労働科学的課題」 司会進行：戸崎肇氏（桜美林大学） 韓国における労働科学的課題 全相鎭氏（帝京平成大学） 中国における労働科学的課題 韓永哲（Zhejiang Yuexiu University） 台湾における労働科学的課題 浦田誠氏（国際運輸労連 ITF）
14:10	14:20	休憩
14:20	16:05	モンゴルにおける労働科学的課題 ジャグダルスレン・ズーナイ氏（弁護士） ベトナムにおける労働科学的課題 チャン ティ フェ氏（神戸女子大学） バングラデシュにおける労働科学的課題 村山真弓氏（日本貿易振興機構アジア経済研究所） 総合討論
16:05	16:15	休憩
16:15	18:10	統一論題②「観光・ホスピタリティ・エンターテインメントビジネスを中心とする労働科学的課題」 司会進行：五十嵐元一氏（桜美林大学） 航空業界における労働科学的課題 関剛彦氏（日本航空） ホテル業界における労働科学的課題 苧原誠氏（森ビルホスピタリティコーポレーション） 旅行業界における労働科学的課題 佐々木秀徳氏（JTB総合研究所） 業界横断的な労働科学的課題「健康経営と地方創生を目指すワーケーションの展望と課題」岩浅巧氏（早稲田大学） 総合討論

18:30～20:00 懇親会（ペットボトルドリンクのみ）

*好天時は南館5階ルーフラウンジ、悪天時は創新館本館1階カフェテリア

自由論題報告

発表者 1-1

氏名：坂本雅明氏・川崎昌氏

所属：桜美林大学ビジネスマネジメント学群

テーマ：多様な働き方に関する意識調査

報告要旨：これまで日本では、週休二日制、フレックス制度、時短勤務、裁量労働制など、就業環境の柔軟化が進められてきた。働き方改革は、企業の生産性向上のためにも、優秀な人材獲得のためにも避けては通れない課題となっている。こうした背景のもと、我々は2021年に学生の就業意識に関する因子分析結果を報告した。今回はその因子を用いて、学生と社会人の就業意識の違いを確認する定量調査を実施した。その分析結果を報告する。

発表者 1-2

氏名：椎名和仁氏

所属：住友電設(株)情報通信システム事業部

テーマ：労働科学関連の文献を概観して－災害防止の科学的研究について－

報告要旨：筆者は2017年から「労働の科学」で労研アーカイブを紹介しており、本大会では執筆中に調べた文献の中で特に興味深い「災害防止の科学的研究」の内容について紹介する。これは、1931年に米国で出版された「Industrial Accident Prevention: A Scientific Approach」を翻訳したものであり、ハインリッヒが安全エンジニアとして経験を積んできた実務的な知識が詰め込まれている。さらに、ハインリッヒに刺激を受けた国内における産業安全運動の先覚者たちにも触れてみたい。

発表者 2-1

氏名：中村宙正氏

所属：博士(経済学)北海道大学

テーマ：人間の尊厳と労働科学

報告要旨：リカードが比較優位を提示した理論において生産要素は労働のみであるが、設備投資にて無形固定資産に分類されるソフトウェアへの投資の重要性が指摘され国内37業種の統計が揃うようになり久しい。人間の作業がデジタル技術に管理されうる。パンデミック以降の変化を捉えるため、2年度おきに(2011年度まで遡り)拡大係数を確認するレート・シェア分析を行った。労働編成を組み直す財源確保の必要性とその方法を提示する。

発表者 2-2

氏名：佐野友美

所属：公益財団法人 大原記念労働科学研究所

テーマ：「障がいを持つ従業員と共に働く職場づくりプログラムの開発」

報告要旨：障がい者雇用への関心の高まりと共に、障がい特性と個別の労働環境に合わせた多様な取り組みが行われている。特に安全衛生においては、現場が包括的に職場を点検し支援を実施できる仕組みが求められる。本研究では、現場の良好事例をもとに、包括的に支援に取り組める視点を整理した。その上で、障がい者がやりがいをもち働くことのできる、現場条件に応じた就労支援を現場の自助努力により実現させる取り組みを整理した。

統一論題

全体テーマ：新たな労働科学的課題へのいざない

ここでは、既にみられる労働科学の取り組みのほかに、新たな視点から労働科学的な課題を洗い出したい。

統一論題①「アジア各国における労働科学的課題」

新たな労働科学的な視点のひとつとして、国際的な視野、特にアジア各国に焦点をあて、それぞれの国における労働科学的な課題を洗い出したい。

司会進行：戸崎肇氏（桜美林大学）

韓国における労働科学的課題（発表 20 分、質疑応答 10 分）

全相鎮氏（帝京平成大学）

中国における労働科学的課題（発表 20 分、質疑応答 10 分）

韓永哲（Zhejiang Yuexiu University）

台湾における労働科学的課題（発表 20 分、質疑応答 10 分）

浦田誠氏（国際運輸労連 ITF）

モンゴルにおける労働科学的課題（発表 20 分、質疑応答 10 分） zoom 参加

ジャグダルスレン・ズーナイ氏（弁護士）

ベトナムにおける労働科学的課題（発表 20 分、質疑応答 10 分） zoom 参加

チャン ティ フェ氏（神戸女子大学）

バングラデシュにおける労働科学的課題（発表 20 分、質疑応答 10 分）

村山真弓氏（日本貿易振興機構アジア経済研究所）

総合討論（15 分）

統一論題②「観光・ホスピタリティ・エンターテインメントビジネスを中心とする労働科学的課題」

新たな労働科学的な視点のひとつとして、観光・ホスピタリティ・エンターテインメントビジネスに焦点をあて、その課題や具体的取り組みをレビューしたい。

司会進行：五十嵐元一氏（桜美林大学）

航空業界における労働科学的課題（発表 20 分、質疑応答 10 分）

関剛彦氏（日本航空）

ホテル業界における労働科学的課題（発表 20 分、質疑応答 10 分）

荳原誠氏（森ビルホスピタリティコーポレーション）

旅行業界における労働科学的課題（発表 20 分、質疑応答 10 分）

佐々木秀徳氏（JTB 総合研究所）

業界横断的な労働科学的課題「健康経営と地方創生を目指すワーケーションの展望と課題」

（発表 20 分、質疑応答 10 分）

岩浅巧氏（早稲田大学）

総合討論（15 分）

参考：桜美林大学 新宿キャンパスへのアクセス

J R 山手線「新大久保駅」下車 徒歩 8 分

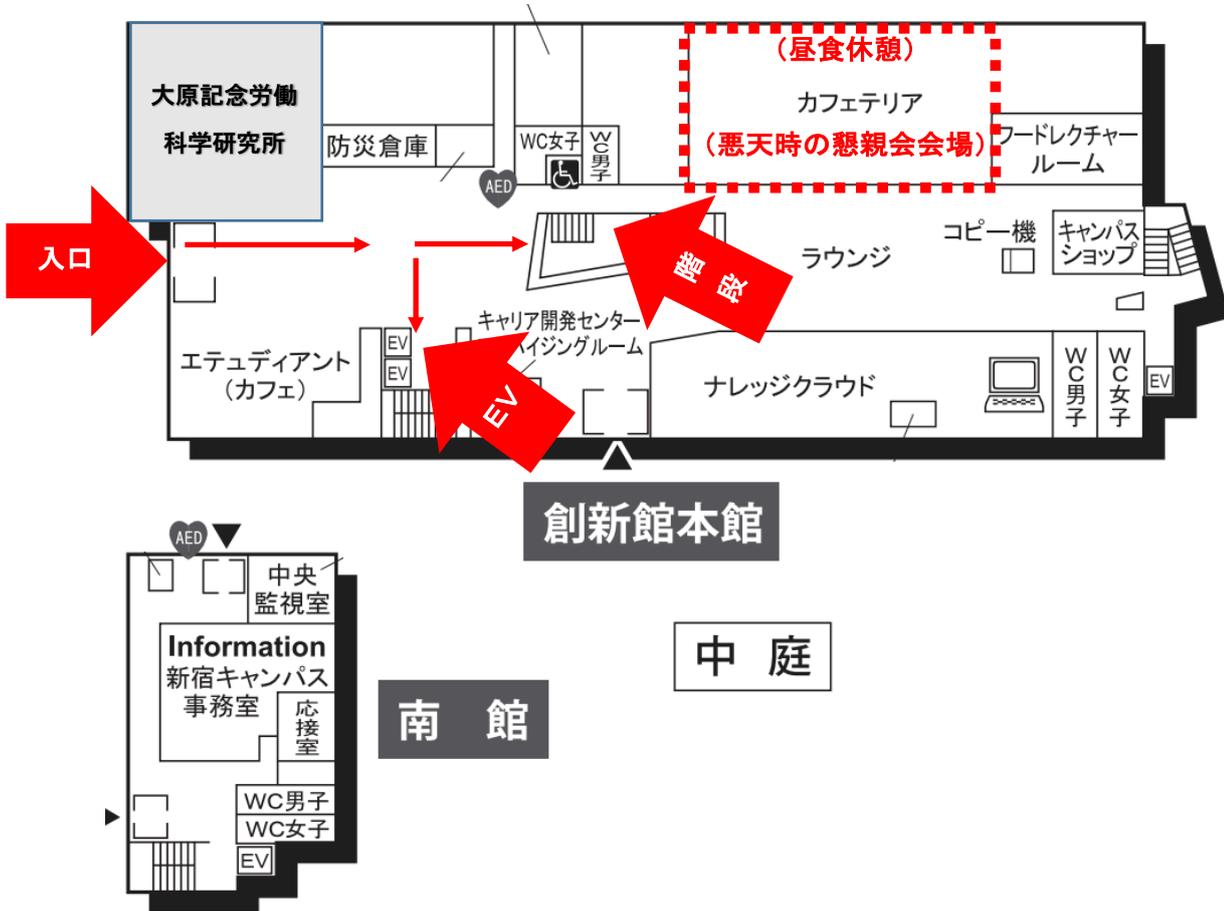
J R 中央・総武線「大久保駅」下車 徒歩 6 分

J R 山手線・西武新宿線・地下鉄東西線「高田馬場駅」下車 戸山口より徒歩 13 分



参考：会場「創新館本館3階センテナリオホール等」へのアクセス

1階



創新館本館3階平面図



